

当社志賀副社長 日本CIGRE国内委員長に就任 系統運用部

電力関係技術者・研究者の世界最大の国際組織であるCIGREの2001年日本国内委員会総会が東京都千代田区の「大手町サンスカイルーム」にて2月2日開催され、当社志賀副社長が新委員長に選任された。

CIGRE(Conseil International des Grands Reseaux Electriques:国際大電力システム会議)は、1921年にフランス人の提唱により送変電技術全般の意見交換を目的に設立された国際会議で、パリに本部があり、現在、当社を始め840の団体会員、約3,600人の個人会員を有している。広範囲に亘る技術課題が15のSC(Study Committee : 研究委員会)によって討議されている。当社からもSC35の国内委員長として河津工務部長が活躍されるなど、各SC活動に積極的に貢献している。

日本CIGRE国内委員会(JNC)はCIGRE本部から正式に認められた各国国内委員会の一つで、日本のCIGRE活動を促進し、日本と諸外国の間の情報交換に資するために設立され、現在、個人会員97名、団体会員37団体からなっている。

志賀副社長は、甘粕前委員長(三菱電機顧問)の後任として委員長に就任。当社としては初めての同委員長就任となる。

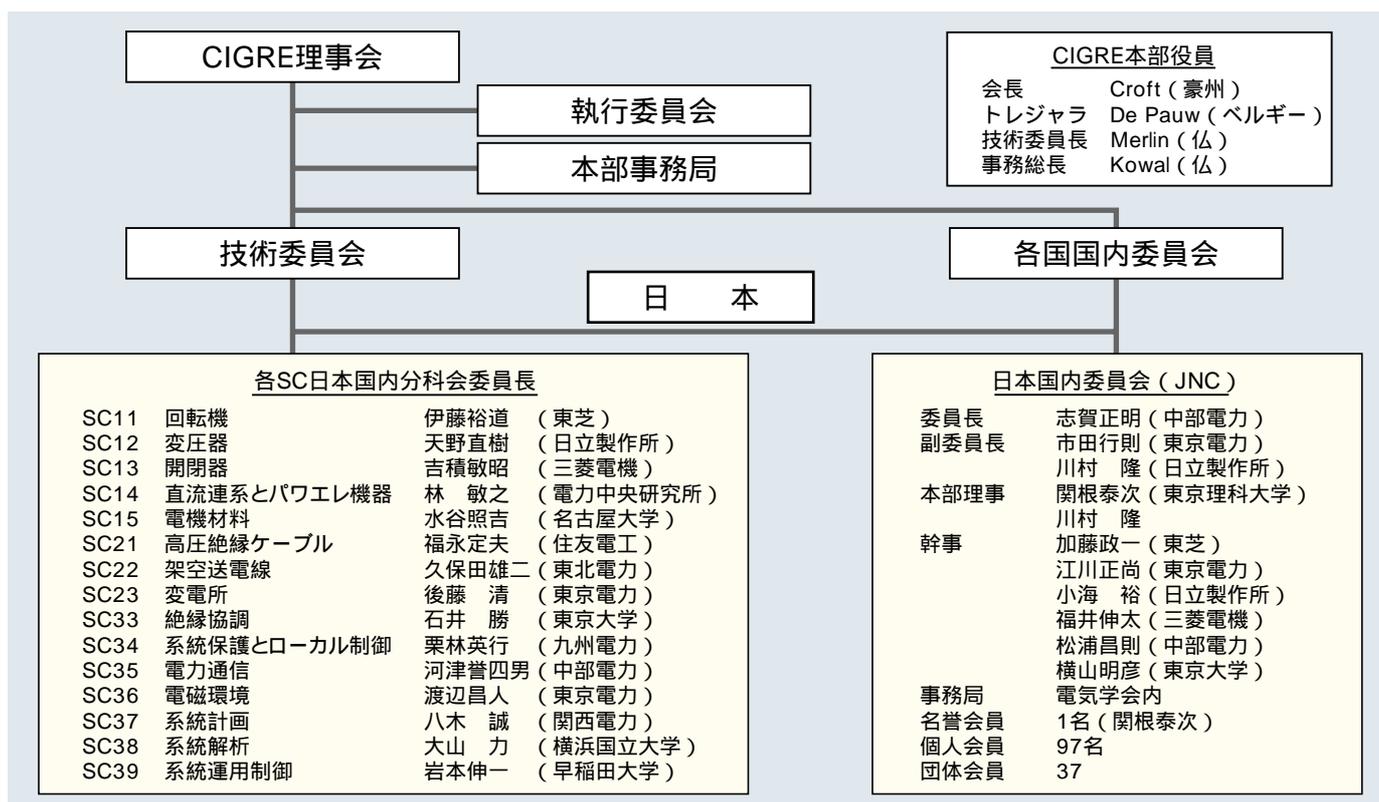
就任にあたり、志賀新委員長は「JNCとして、国内



新委員長に選任され、あいさつする志賀副社長

のCIGRE活動の活性化はもとより、3月にCIGRE本部正式承認後初めての開催となるアジア・オセアニア地域会議(AORC)の活動の活発化を図り、日本の電力技術のアジア地域へのPRならびに貢献を果たし、更にはビジネスチャンスにつなげていければと考えている。」との決意と抱負を語られた。

また、同総会にて、志賀副社長の後任として、当社の技術開発本部長野嶋常務のJNC執行委員への就任についても全会一致で承認された。



2001年現在のパリ本部とJNCの構成